

川崎競輪場バンク 33年ぶり舗装更新

NIPPON

NIPPON・信号器材V
が約33年ぶりとなる川崎競
輪場(川崎市川崎区)のバ
ンク改修工事を手掛け、既
存建築物の撤去や擁壁新設
を含む全工事を9月29日に
完了した。写真(NIPP
ON提供)。完成後の試走で
は選手から「路面が整備さ
れ走りやすくなった」と高
い評価を得ている。10月7



〜9日に「バンクリニュー
アル記念NIPPON杯」も
開催された。

川崎市から受注した「川
崎競輪場バンク改修その他
工事」は2022年11月16
日に着手した。バンク舗装

は周長400㍎、ホーム幅
員10・3㍎、路面の最大傾
斜角度が約32度で改修面積
は6240平方㍎。ひび割
れなどの損傷が発生してい
たバンク舗装を切削し、特
別配合の特殊密粒度アスフ
ルト混合物などを使い2
〜3層で敷きならした。

NIPPONは長年蓄積し
てきた競輪場や自転車競技
場などの舗装施工実績を生
かし、舗装用材料や施工方
法に独自の技術的知識と技

能を導入。ハイレベルの選
手が違和感なく競技に専念
できるよつ、スムーズな平
たんに仕上げ、アスファ
ルトのきめと自転車競技場
専用塗料により適切なグリ
ップ感を与えている。

バンク改修に加え、第3
〜4コーナー付近のバンク
舗装の外側にあった既存建
築物を撤去し、高さ約4・
6㍎、長さ137㍎のRC
擁壁も新設した。

川崎競輪場バンク 舗装33年ぶり更新

NIPPO

NIPPOの施工で33年ぶりに更新した川崎競輪場のバンク舗装が、走りやすくなると競輪選手から高い評価を

得ている。今回、バンク舗装の改修と既存建築物の撤去、RC造の擁壁を新設した写真。

改修工事では、路面のひび割れなどの損傷が発生した既存バンク舗装を切削オーバーレイで補修し、特殊密粒度アスファルト混合物などを使って2、3層で敷き均した。アスファルトで表層まで施工した後、自転車競輪場専用塗料を塗布して仕上げた。

川崎競輪場は、NIPPO・信号器材JVの施工で、2022年11月から今年9月まで改修工事を行った。発注者



は川崎市、工事名は「川崎競輪場バンク改修その他工事」。10月7―9日には、「バンクリニューアル記念NIPPO杯」が開かれた。